

第27回市民みんなのまつり 今年も7校・約340名の 児童・生徒が参加しました



第七小学校



第八小学校



第九小学校



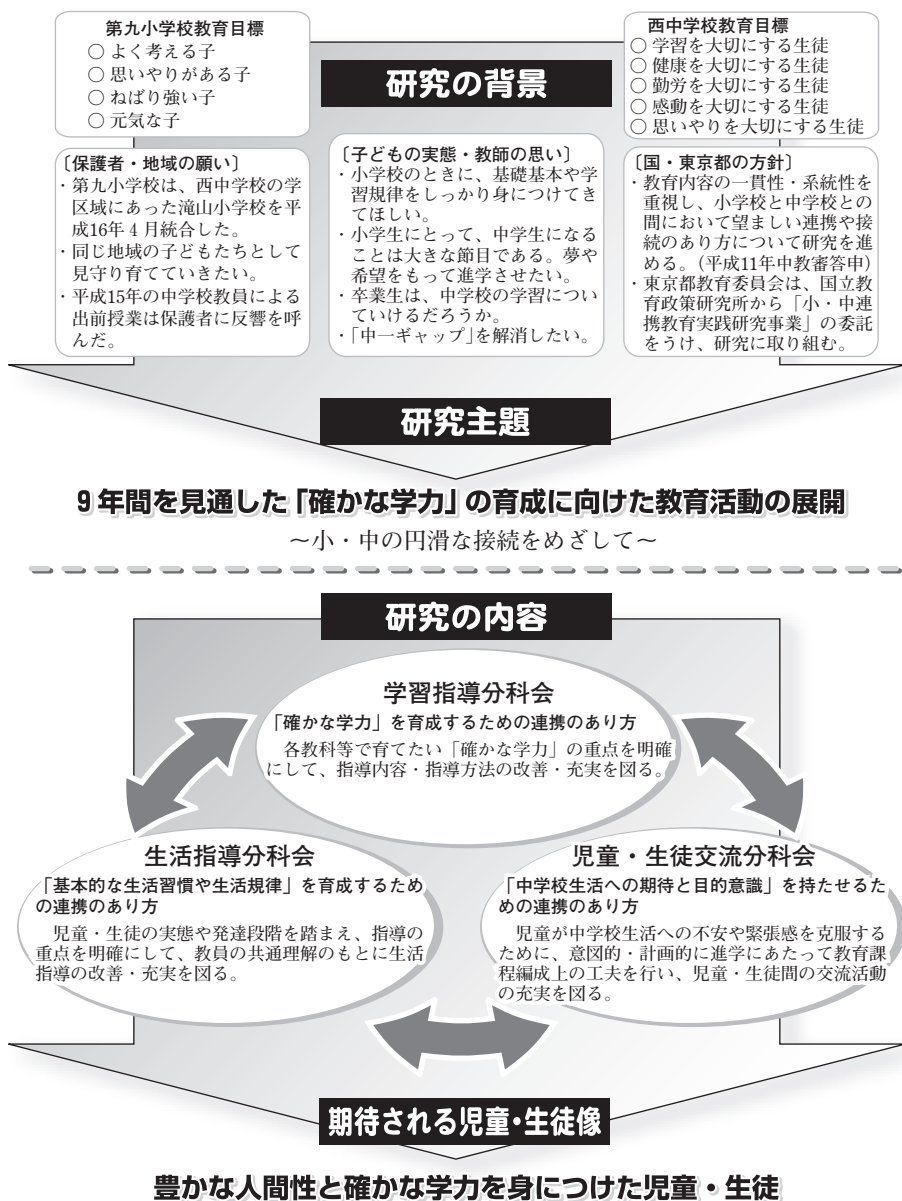
小山小学校



東中学校

第九小学校と西中学校は、平成16年度から2年間「小・中連携教育実践研究協力校（文部科学省・東京都教育委員会）」「特別研究奨励校（東久留米市教育委員会）」の指定を受け、「9年間を見通した「確かな学力」の育成に向けた教育活動の展開」小・中の円滑な接続をめざして「研究の全体構想図」を研究主題として、小・中学校の教育内容の一貫性・系統性を重視し、小学校と中学校との間における望ましい連携や接続のあり方を中心に研究を進めてきました。「豊かな人間性と確かな学力を身につけた児童・生徒」を育成するために進めてきた研究の背景・主題・内容等を全体構想図でお知らせします。

研究の全体構想図



平成16・17年度小・中連携教育実践研究事業 9年間を見通した「確かな学力」の育成に向けた 教育活動の展開 ―小・中の円滑な接続をめざして―

教育の根幹を見失わず



教育委員長
榎本 隆司

頌春
この春を、北京の友人や先生方はどんなふうに迎えられたか、日中関係とともに思い合わせられます。

あいつぐ問題を前に、あらためて「巨視と微視」を確認したいと思えます。学力低下騒ぎの煽りで、ゆとり教育も総合学習も過去のことで追いついていられそうですが、対症療法に急ぐ教育の根幹を見失ってはなりません。改革に積極的であるためにこそ、原点から掘り起こす努力を重ねるべきだと考えます。

子どもはチャイムを管理の鐘とさえきくと言います。近視眼的に管理強化に走っては危険です。厳格として規律を守る責任を大前提としつつ、子どもも教師も自由であって欲しいと願っています。統制に弱かった歴史に鑑み、間違つていない施策のために、委員会挙げて力をいたします。学校当局はもとより、ご家庭・地域の方々、ひろく文化・体育ほか関係各位のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。ご清福を祈ります。

礼節と優しさの人づくりを



教育委員長
岡本 宏之

新春を迎え、市民の皆様には益々健康のことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は子どもが犠牲となる悲惨な事件が相次ぎました。こうした報道に接するたびに心痛むばかりでなく、子ども自身が自らの安全確保に意を注がなくてはならない時代の到来に、複雑な思いがいたします。教育関係者はもとより、すべての大人が子どもの安全を守るために努力する必要があると思えます。

アインシュタインが「礼節を知り、心の優しさをもった人々」と高く評価した日本人。そのよ

りでも、生きがいを探すための生涯学習時代を迎え、誰もがどこでもいつでも楽しくスポーツや文化活動にいそしめる環境整備に一層努力する所存です。

今年も、倍旧のご理解と御支援をお願いしますとともに、皆様のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。